

1) システムの名称：

地域医療連携支援システム PrimeArch (プライムアーチ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

16. 地域医療情報システム他

3) 特色：

PrimeArchは、多施設のSS-MIXストレージをインターネット回線で連携することにより包括型地域医療を実現する、地域医療連携支援システムです。ご導入形態は、弊社クラウドサービスまたはオンプレミス（導入型）に対応します。

■SS-MIX 標準化ストレージ、拡張ストレージをベースにデータ連携します。(SS-MIX2対応済み)

- ・標準化ストレージに格納された患者情報、処方、検体検査結果の参照
- ・レポート等の拡張ファイル形式 (JPEG、PDF、Excel、Word等) の保存・参照が可能
- ・オフラインによるアップロード機能を実装

■診療情報提供書 (紹介状)、診療レポート等の作成を支援します。

- ・診療情報提供書のほか、各種レポートの作成に対応
- ・オフライン施設向けとした、HL7 CDA R2に準拠した診療情報提供書CD出力に標準対応
- ・他施設からのCD取り込みに対応 (一般的なファイルにも対応)
- ・将来の電子処方箋 (法令化は未定) にも対応予定

■多施設間のデータを収集し、対象患者の情報を表示します。

- ・データの保存場所は、「集中型」 & 「分散型」に対応、及びこれらの混在型に対応
- ・各施設の検査画像 (DICOM) を参照
- ・時系列・登録データ種別マトリックスからワンクリック操作
- ・患者IDの名寄せ検索 (PIX/PDQ)

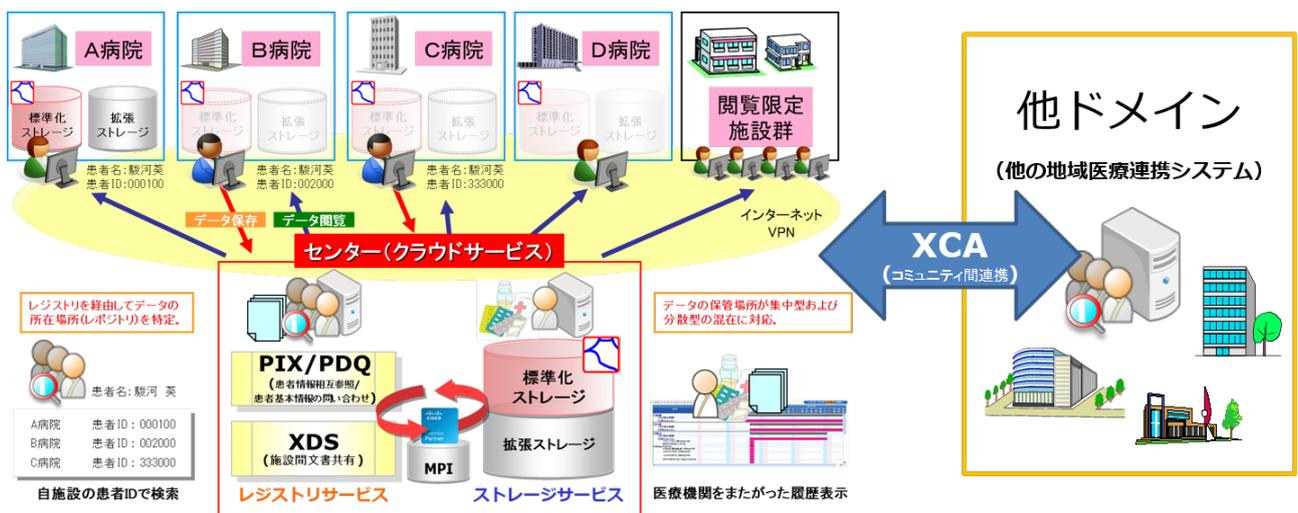
■HPKI、患者認証用カードに対応することで、セキュリティ、プライバシーの保護を強化します。

■既設のインターネット回線も利用できることで、ネットワークコストを削減します。

■開示施設毎に Cisco Webex Meetings 年間ライセンスが付属し、別途ビデオ会議のご利用も可能になります。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

PrimeArch (地域医療連携支援システム) 概要図



PrimeArchは、地域医療連携システムの構築の標準として、IHEの関連統合プロファイル「IHE ITインフラストラクチャ」に対応し、他の地域における別の地域医療連携システム間と標準化によるデータ連携を実現できます。

※弊社クラウドサービスによる構築も可能です (データ開示病院には連携用サーバの導入が必要)。

画面例：



製品紹介 URL <https://www.sbs-infosys.co.jp/solution/medical/37.html>

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- データ交換規約：HL7 (Ver2.5) / 患者情報 (ADT)、入退院情報 (ADT)、処方・注射情報 (OPM)、検査情報 (OML) に標準対応
- HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書 (患者への情報提供) 準拠
- HS008 診療情報提供書 (電子紹介状) 準拠
- HS011 医療におけるデジタル画像と通信 (DICOM)
- HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン
- HS031 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
- 厚生労働省電子の診療情報交換推進事業規格適合済み
- IHE ITインフラストラクチャ PIX V3, PDQ V3, XDS.b, XCA (IHE-J2016コネクタソン合格)
- SS-MIXストレージ利用範囲：データ連携 (参照含む)

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合)：

【サーバ構成】

オペレーティングシステム：Windows Server 2016 (R) 日本語版 以降  
追加コンポーネント：.NET Framework 3.5 以降  
CPU：Intel Pentiumプロセッサ 以上 (Xeonプロセッサ 以上を推奨)  
メインメモリ：8GB 以上

【クライアント構成】

オペレーティングシステム：Windows (R) 10 日本語版 以降  
ブラウザ：Google Chrome 最新版、Microsoft Edge (Chromium) 最新版

7) 稼働までに必要な作業・期間：

既設HISにおける、標準化ストレージ・拡張ストレージ連携ご対応  
既設PACSにおける、DICOM Q/R連携お打合せ・ご対応  
インターネット回線開通、等  
稼働までに通常3~6ヶ月程度必要となります。

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額帯・金額帯を入れても良い)：

7桁 (他システム連動・機器費は除く) ※参加施設数により変動

9) 保守の内容と費用：

初期講習：オペレーション説明、マニュアル配布  
初期導入保守：運用開始時立会い  
利用保守料 (回線使用料は別途)：月額 4~6桁 / 施設、閲覧限定ライセンスは無償 (オンプレミスご導入時)  
※MPI (Master Patient Index) 患者識別マスタ登録数により変動  
※遠隔保守 (必須)、※別途ハード保守あり

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば)：

問合せ先：株式会社 SBS 情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>  
〒422-8061 静岡県静岡市駿河区森下町 1-35 静岡 MY タワービル 10F  
TEL：054-284-9122 FAX：054-287-5225  
営業本部 医療営業部

Mail：iryo@sbs-infosys.co.jp